

# あみだじ 阿弥陀寺 だより

2016年3月1日 第28号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

E-mail amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ [金剛山阿弥陀寺](#) 検索

郵便振替: 01710-8-68921 加入者名: 阿弥陀寺事務所



三角西港(熊本県宇城市)

## 苔のむすまで

大谷 義文

以前、熊本市内在住の老夫婦を取材したことがある。

玄関では、お二人揃つて「ようこそ」と笑顔で出迎えてくださった。

部屋に案内され、椅子に座つた。するとご主人、突然シャツを脱ぎ上半身裸になつた。さらに、かけている眼鏡をはずした。

その裸体に右腕は無く、痛々しい大小無数の古傷。そしてはずしたメガネの柄を持ち、義眼であろう右の目をコンコンと大きな音を立て、強く突く。

もう一度こちらを見た。テーブルの上にあつたピーナッツの小さな袋を片手で開け、「どうぞ」と勧められた。

昭和19年10月。レイテ沖海戦で駆逐艦に乗船。敵の機銃掃射を受け、右

眼球摘出、右腕切断の重傷。いまでも身体中に無数の断片が星屑のように散り、神経に当たると激しい痛みに襲われる。

「まるで、水木しげるさんよ」となりで奥さまが微笑んだ。帰還後、夫婦で縫製業、貸し本屋を営み生計を立てた。

私は当時の状況、そして現在に至るまでのご苦労を文章にするべく訪問した。しかし、質問より先に彼は答えた。しかも、言葉ではなく身体で。

夕暮になつた。真っ白なノートとシャツターレを押していらないカメラを持つて家路についた。

春日和、空き地から子どもの声が聞こえる。ご婦人の買い物袋から菊の花が覗く。墓地では、草切り鎌を手におばあちゃんが立ち話をしている。

彼岸、先祖方に声をかけよう「ありがたい」と。

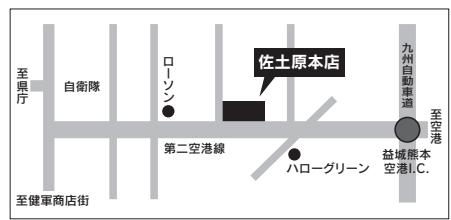
## 佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

営業時間

毎日/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)  
夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)  
定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)  
7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>



門川 崇志 師（大阪 浄方寺 様）

## 差向け布教

永代經 納骨堂追弔 法要



法話 大谷義文



勤行『正信偈』



紙切り師 柳家 松太郎 師

2月22日、午後2時から、差し向け布教が開座されました。今年は、大阪市内にある淨方寺様、門川崇志布教使が本山佛光寺から差し向けられ、法話をいたしました。また、納骨堂追弔、永代經法要も併修しました。

喜讃仰せしむれば功徳の宝を具足して一念大願成就の宝を具足して「阿弥陀仏のみなを生きる」と讀題に病死という誰もが逃げきっていることを忘れている私たち。その姿に気づかせてくれる声が念佛であると話されました。

「阿弥陀仏のみな」

かせてくれる声が念佛であり、「阿弥陀仏のみな」

あると話されました。

面白い JAZZ をご紹介。モダンジャズの両巨頭マイ尔斯・デイビスとセロニアス・モンク。1954年（小生、出生の年）に共演したアルバム『マイルス・デイビス & モダン・ジャズ・ジャイアンツ』。この中の「スイング・スプリング」という曲が大好きなのです。

この両者、音楽に対する考え方方が相容れなかつたとされ、俗に「喧嘩セッション」と呼ばれています。マイ尔斯はビル・エバンスみたいなピアニストからインスピレーションをとるタイプ。それに個性的なモンクの

ピアノは自分のイメージネーションの妨げになると考えたのでしょうか。録音前に、なんと大先輩のモンクに向かって、「私のバックでピアノを弾かないでくれ」と注文。当然、スタジオ内に緊張が走る。怒ったモンクは「モンクに文句を言うな！」なんて駄じやれを言つたかどうかは不明ですが、途中で演奏を止めてしまう始末。

まあ、名演奏には昔からいろいろなエピソードがあるようです。今も、あの世で兩人喧嘩しながらジャムしているのかな。春うらら、レコードに針を落としながら、ひとり空想にふける小生です。

## 報恩講

親鸞聖人ご法事



1月11日、報恩講勤修。午後1時から、皆さまと「正信偈」を唱和し合掌、礼拝しました。法話の前半は、大谷義文。後半は、柳家松太郎師匠が勤めました。



法話



慮なし。なんと、前方の男性から「反省する羊」とのリクエスト。「ええ、こんなのが初めてだね。熊笑い。しかし、「羊ってのは、『美』って書くよう大きくて肥えているのがいいんだよ」なんて話しているうちに、「はい」と紙を広げると、使

本、怖いね」と師匠も苦笑い。しかしながら今年は鶴、はね、「美」って書くよう大きくて肥えているのがいいんだよ」なんて話しているうちに、「はい」と紙を広げると、使

西行法師『山家集』

「申う」は「訪う」と同義。「たずねる もとぞれる」という意。お彼岸は、亡き方々の「たづねてくれ」という声が私におとされには、大歓声に拍手喝采。その後も容赦なし。

「着物」で踊る女のサル」、「バラの花」、「孔雀」と

無理難題のオンパレード。

何でも、見事に切り抜く松太郎師匠でした。

「水、融け去り 葦はつのぐむ」

## オフ off · beat

総代のつぶやき 17

ビート ビート リズムの心



## 『御修行奮闘記』

釋博真（柄原真人）

をして



## 阿弥陀寺様でのお葬式

ファミリープラン  
(家族・親族の安心プラン)  
他のプランもございます。

30万円より  
以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 電柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇  
含まれないもの。。。返礼品、食事、火葬料金

## 想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)  
豊城町宮園 547-3 096-286-4640  
携帯 080-5214-4640  
メール info@kiyamasouge.com

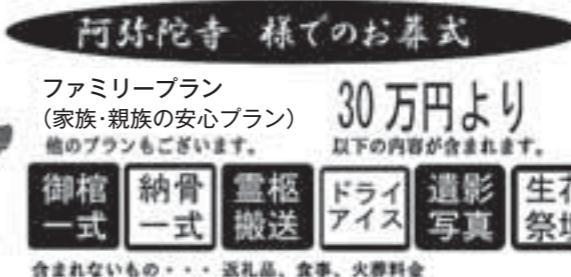
## 生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

**成人部**  
漢字／臨書／かな／ペン／  
くらしの書（実用書道）

**生徒部**  
幼児・小中学生  
各学年（毛筆・硬筆）



# 春・彼岸会法要

日時・3月20日(日)・春分の日

午後1時30分 読経

2時00分 法話(午後4時30分終了後、懇親会)

講題・「彼岸と此岸をつなぐ物語～能と怪談～」

法話 安田登師(東京能楽師・宝生流・フキ方)

櫻宅聰師(東京能楽師・森田流・笛方)

東雅夫師(東京文芸評論家・アンソロジスト)

※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

## 寺子屋

日時・5月22日(日) 午後2時から5時(終了後、懇親会)

講題・「涙と笑いは裏表～悲しみの能／笑いの狂言～」

講師・安田登師(東京能楽師・こども能チャレンジ講師)

講師・奥津健太郎師(東京能楽師和泉流狂言方)

※参加費はお賽銭。懇親会費は1000円。(1人)

## こども能チャレンジ 参加者募集

日時・8月17日(水) 午後1時受付 1時30分開講

19日(金) 午後1時終了

定員 15名(小、中学生) 参加費8500円(保険料込)

講師・安田登師 櫻宅聰師



トランペッター 香西克章師!



春彼岸(3/20)講師 東雅夫師!

年末恒例、12月23日に寺子屋「歳暮の会」、別名「聖母の会」が勤めました。

皆さまとご本尊の御前で読経。その後、安田登先生から、「メロディーと節」のお話。能の謡、「井筒」

を学びました。

指揮者の香西克章

師から、身体全体、顔や首を有效地に動かしての发声、「第九」の構成を学びました。なぜ年末になると、「第九」の人気が出るのかというお話は、とても納得がいきました。

皆さん、練習を重ねドイツ語で「第九」を合唱しました。昨年よりも、弾むように聞こえました。謡、クリスマスソング、唱歌にムード歌謡という聖なる会になりました。



『第九』を合唱!

## 昨年ホ寺子屋 歳暮の会

年末恒例、12月23

日に寺子屋「歳暮の会」、別名「聖母の会」

が勤めました。

皆さまとご本尊の

御前で読経。その後、

安田登先生から、「メ

ロディーと節」のお

話。能の謡、「井筒」

を学びました。

指揮者の香西克章

師から、身体全体、顔や首を有效地に動かしての发声、「第九」の構成を学びました。なぜ年末になると、「第九」の人気が出るのかというお話は、とても納得がいきました。

皆さん、練習を重ねドイツ語で「第九」を合唱しました。昨年よりも、弾むように聞こえました。謡、クリスマスソング、唱歌にムード歌謡という聖なる会になりました。

## 葬儀・祭壇 熊本県儀式共済グループ

ハタオ葬儀社

## 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3  
TEL.096-364-3220(代)

豊住葬祭

## 豊住斎場

熊本市中央区河原町23  
TEL.096-324-4848(代)